

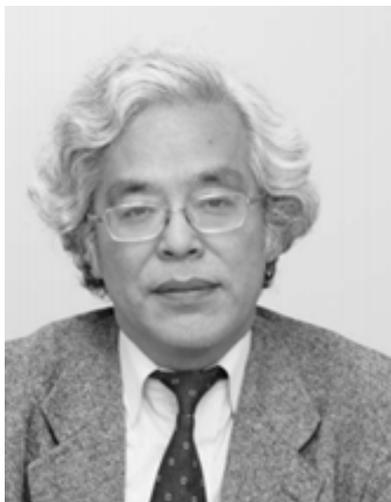
平成30年度 阿武町歴史講演会

# 奈古勘場日記と池田梁蔵

～幕末の奈古の歴史を読み解く～

講師

東京ふるさと阿武町会 幹事長  
三浦 孝夫氏



阿武町奈古出身、埼玉県在住。昭和43年萩高校卒、昭和48年東京大学文学部西洋史学科卒。現在、防長倶楽部会員、徳山地方郷土史研究会会員。奈古出身で幕末期に海外へ渡航し西洋ポンプの研究を行った池田梁蔵の子孫より蔵書等の整理を引き受け、彼の半生についての研究を行っている。また、阿武町の幕末の情勢について記した奈古勘場日記についても研究を行っている。

幕末期の奈古村。異国からの攻撃に怯える日々に、住民の要望を受けて役人がとった行動が大きな波紋を起こします。一体何をしたのでしょうか？また、奈古出身の池田梁蔵は、西洋ポンプの研究を行っただけではありませんでした。彼の残した功績とは？新たに発掘された、奈古勘場日記と、池田梁蔵が残した史料から、閉塞感を打破する為に奔走した住民、役人、そして池田梁蔵の姿を追います。

日時：平成30年9月28日(金) 13:30～15:00(※)  
場所：阿武町町民センター 多目的ホール

(山口県阿武郡阿武町大字奈古3078番地1)

参加料：無料

問合せ先：阿武町教育委員会 (TEL：2-0501)

※15時の講演会終了後に希望者による座談会を行う予定です。